| 学校番号 | T4001 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | （学）小論文入門 | 単位数 | １単位 | 年次 | １～４ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小論文の書き方を学びます。
進学を希望する方などで、論理的な文章を書けるようになりたい人はぜひ受講してください。
科目の特性上、長文を書いたり読んだりします。上位科目ではありませんが、すでに国語の必履修科目を修得しているなど、ある程度の日本語の力があることが望ましいです。

## ２　学習の到達目標

知識及び技能】
・慣用句や文法などを正しく用いることができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・作文（感想文）と小論文（事実や意見）の違いを把握し、論理的・客観的な文章を書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・資料分析を正しく行い、考察や意見の主張ができるようになる。
・さまざまな形式の出題方法に応じて適切な回答を述べることができるようになる。
・制限時間内に、一定以上の文字数で文章を書くことができるようになる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・語句や文法を覚え、正しく使用している。<br>・文章構成の方法を理解し、活用できている。<br>・グラフなどを正しく読み取ることができている。 | ・自身の意見を客観的に述べることができる。<br>・多様な出題方法に応じ、適切に回答を述べることができる。<br>・自身の知識や経験に基づき、具体例を用いた文章を書くことができる。 | ・推敲等を通して、言葉遣いや文章構成を改めるなど、よりよい文章作成を行っている。<br>・他者の意見にも耳を傾け、反論を想定した文章を作成するなど、自身の活動に取り入れることができている。<br>・指定の字数程度に達するまで、粘り強く取り組むことができる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 月 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 4月 | 語彙・文法<br>［教材］<br>ワークシート | a:語句の意味や文法の用法を理解している。<br>b[　書　]:学んだ語句等を用いて、短文を書くことができる。<br>c:関連する語句や、語源などを調べたり学ぼうとしている。 | 定期考査 | ワークシート | 観察<br>ワークシート |
| 5月 | 資料分析<br>［教材］<br>ワークシート | a:様々なグラフを元に出題された問を解くことができる。<br>b[　読　]:グラフから読み取れることを書きだすことができる。<br>c:読み取った情報から、その原因や背景を考察することができる。 | 定期考査 | ワークシート | 観察<br>ワークシート |
| 6月 | 文章読解<br>［教材］<br>ワークシート | a:段落関係や文章の構成、要旨をとらえることができる。文章の要約ができる。<br>b[　読　]:読解した文章の構成を参考にして、自身で文章を作成することができる。<br>c:読解した文章に対して、様々な立場で意見を述べることができる。 | 定期考査 | ワークシート | 観察<br>ワークシート |
| 7月 | 意見文<br>［教材］<br>ワークシート | a:文章構成の方法を理解する。<br>b[　書　]:多様な出題方法に応じて、小論文を作成することができる。<br>c:表現が適切であるかの推敲を行ったり、完成までの速度を縮めるなど、小論文作成への意欲が見られる。 | 定期考査 | ワークシート | 観察<br>ワークシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　30　）時間
・読むこと　…　（　30　）時間